



栗の木寮 防火訓練実施

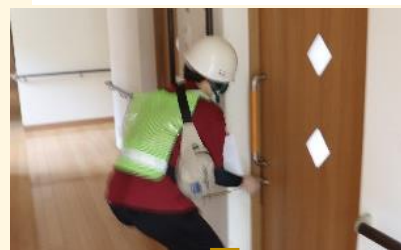
火災発生 出火場所を確認



負傷者発見！
安全な場所に救出



逃げ遅れた仲間はいないか
各部屋を確認



直ちに初期消火と避難誘導開始



全員安全な場所に避難完了



仲間を次々に避難誘導



指揮者は、応援に駆け付けた
職員に的確な作業指示を出す



屋内消火栓による放水訓練の様子



定期的に行っている防火訓練を、6月10日午後1時から、綾部市消防署職員の指導の下で開催しました。火災発生は、午後7時30分頃「入所者の一室からタコ足配線が原因と思われる火災が発生した。」との想定で行いました。

突如けたたましく鳴り響く非常ベル、暗い廊下やホールを赤く染める赤色灯、仲間の部屋では激しくフラッシュライトが点滅し火災発生を知らせています。

支援員は、直ちに火災モニターを確認し、火災発生場所の特定を急ぐと同時に、通報や隣接する施設職員に応援要請を行いました。

その後、消火器による初期消火に当たる支援員、寝ている仲間に火災発生を知らせ、安全な場所に避難誘導する支援員、一報を受け次々応援に駆けつける梅の木寮や総務の職員、避難の途中負傷した仲間(モデル)を車椅子で救助する職員、それぞれ指示された役割を迅速に行い、すべての仲間が安全な場所に避難することができました。

訓練の締めくくりに、栗の木寮に設置されている屋内消火栓で放水を行い無事訓練を終了しました。

訓練終了後、綾部市消防署より訓練成果について「皆さんスムーズに避難できました。」と評価を頂きました。

栗の木寮では、「平時にてできないことは、非常時でもできない」事を肝に銘じ、よりレベルの高い避難誘導が出来るよう、これからも定期的に同様の訓練を積み重ねていきます。

いこいの村の梅採り作業に奮闘



小さな蕾
から、大
きく成長
した梅

本紙3月号でお知らせした
いこいの村の梅林、今年
も大きな実をつけました。
仲間たちもこの日を待ち
望んでいたのか、一粒一
粒、自然の恵みに感謝し
ながら収穫しました。



爽やかな梅の香りを届けたい



いこいの村設立間もないころ、先任の職員や多くの仲間たちが夢や希望を胸に、1本1本丁寧に真心こめて苗を植え、今日まで大切に育ててきた30数本の梅の木。いこいの村設立40周年を迎えたお祝いとばかりに、私たちへの大きなプレゼントです。

これからも栗の木寮と共に歩み、成長していくことでしょう。

収穫した梅は、事前に予約いただいた方に販売し、大変喜んでいただきました。